

平成28年産麦類 作況試験生育状況(古川農試)[4月11日調査結果]

1. 供試品種および耕種概要

・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・播種期：10月20日
- ・播種量：0.9kg/a（ドリル播き，条間25cm）
- ・施肥：尿素磷加安777号
(N：0.8kg/a, P₂O₅：0.8kg/a, K₂O：0.8kg/a)
- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6kg/a
- ・排水対策：明渠，暗渠及び弾丸暗渠2.0m間隔
- ・ほ場条件：沖積埴壤土 転換初年目（前作水稻）

2. 気象概況[3月第下旬～4月上旬] (表1, 図1～3参照)

- ・平均気温は，3月第5半旬は平年並み，3月第6半旬以降は平年より高かった。
- ・降水量は，3月第6半旬まで少なく，4月4日と7日にまとまった降水があり，平年より多かった。
- ・日照時間は，3月第5半旬，第6半旬は平年より多く，4月第1半旬が平年より少なかったが，4月第2半旬は平年並みであった。

表1 気象経過(3月第5半旬～4月第2半旬) 古川AMeDAS

月 半旬	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
3月 第5半旬	4.5	-0.1	3.5	30%	35.0	124%
3月 第6半旬	6.8	1.4	1.5	11%	56.5	161%
4月 第1半旬	8.2	1.5	22.0	190%	23.3	75%
4月 第2半旬	9.8	1.8	64.5	478%	31.8	104%

注1) 古川AMeDAS日別データから算出
注2) 平年差(比)はAMeDAS平年値との比較

3. 生育概況

1) 4月11日現在の生育状況 (表2)

- ・平均気温が平年より高温で推移し，草丈は平年より長く経過している。
- ・茎数は平年比8割程度で少なく，葉齢は平年より多かった。
- ・あおばの恋で幼穂の一部に発育障害が認められた。生育が早く，幼穂形成期が年内にずれ込んだため，低温による被害を受けたと考えられた。
- ・今後，出穂期が早まることにより，赤かび病防除等の作業適期も早まると予想される。

2) 幼穂分化状況 (表3)

- ・場内ほ場では，大麦，小麦とも幼穂長が5mmを超え，平年より早い時期に分化ステージを経過したと考えられる。
- ・主稈長は，大麦，小麦とも平年より長かった。シュンライ，あおばの恋で100mm以上長い。
- ・茎立期は，大麦，小麦とも平年より10日以上早い。特にあおばの恋では平年より23日早い。
- ・麦類生育ステージ予測シートによる出穂期の予測では，大麦では平年より11日，小麦では6～11日早まる予測となり，平年よりかなり早いと考えられる。

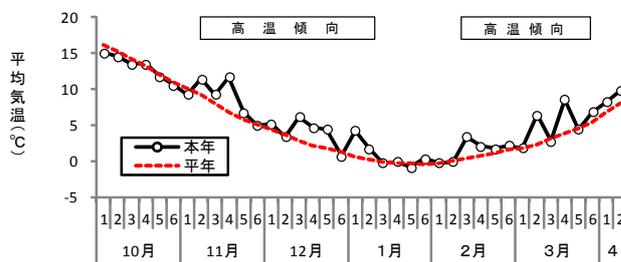


図1 半旬別気象経過(平均気温, AMeDAS(古川), 2015年～2016年)

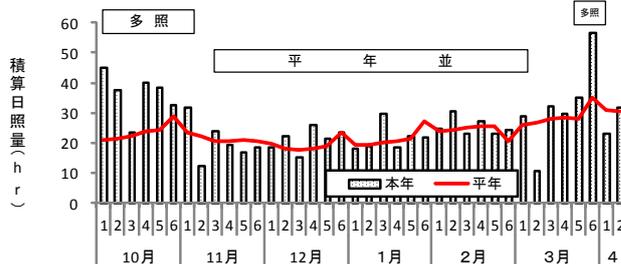


図2 半旬別気象経過(積算日射量, AMeDAS(古川), 2015年～2016年)

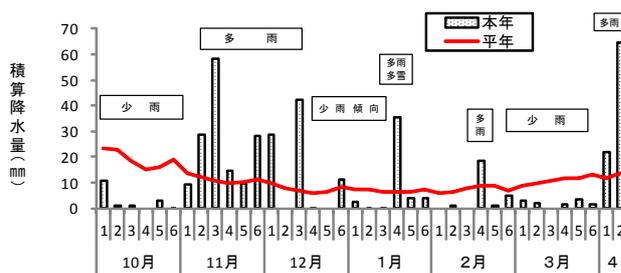


図3 半旬別気象経過(積算降水量, AMeDAS(古川), 2015年～2016年)

表2 古川農試ほ場の生育状況(4月11日現在)

品種	草丈			茎数			葉齢		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年比 (枚)	平年比 (枚)
シュンライ	47.7	139	225	735	97	70	10.8	0.6	1.9
ミノリムギ	40.6	142	199	883	106	83	11.8	2.3	2.8
あおばの恋	48.2	126	200	743	90	80	8.5	0.2	0.8
シラネコムギ	39.3	119	188	841	100	84	10.4	1.2	1.7
ゆきちから	32.1	118	170	1001	92	83	10.4	1.1	1.8

表3 古川農試ほ場の幼穂分化状況(4月11日現在)

品種	幼穂長			幼穂形成始期 (月/日)		主稈長 (mm)		茎立期 (月/日)		減分期予測 (月/日)		出穂期予測 (月/日)	
	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	シュンライ	21.4	7.0	14.1	1/27	2/3	130.3	21.2	3/22	4/4	4/11	4/25	4/21
ミノリムギ	14.5	7.4	9.3	2/4	2/15	78.8	20.4	3/26	4/6	4/15	4/27	4/25	5/6
あおばの恋	25.3	15.9	20.1	12/26	2/22	144.1	24.1	3/7	3/30	4/12	4/27	4/26	5/7
シラネコムギ	8.2	3.7	5.4	3/6	3/16	67.3	20.9	3/29	4/12	4/23	5/1	5/3	5/11
ゆきちから	6.7	2.4	4.0	3/8	3/21	41.9	18.9	4/4	4/16	4/25	5/1	5/6	5/12

※減分期、出穂期の予測は、古川農試麦類生育ステージ予測シート(Ver 3. 0)によるもの。

- 注1) 平年比(差)は過去5か年(「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値との比較。
 2) 幼穂形成始期の平年値は過去5か年(「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値。
 3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。
 4) 茎立期: 主稈長2cmに達した日。
 5) 減数分裂期: 幼穂長30mmに達した日。
 6) 麦類生育ステージ予測シート(Ver 3. 0)の予測には、気象庁AMeDAS(古川)の平年値データを用いた。
 今後の気温推移については高温で推移する可能性を想定する必要がある。

平成27年度(平成28年産)麦類生育調査ほ生育状況〔4月11日調査結果〕

表4 麦類生育調査ほ耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	播種様式	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	17	暗渠	11月1日	1.0	ドリル播き	30
	ミノリムギ	大河原町	17	暗渠	11月5日	1.0	ドリル播き	30
仙台	シュンライ	大和町	14	明渠、暗渠	10月19日	1.0	ドリル播き	30.9
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	2	暗渠、補助暗渠	10月16日	1.0	ドリル播き	15.1
美里	シラネコムギ	鹿島台	2	明渠、暗渠	10月22日	1.2	ドリル播き	22
	ゆきちから	涌谷	1	暗渠	10月29日	1.1~1.2	ドリル播き	24
登米	あおばの恋	登米市	20	暗渠	11月22日	1.4	ドリル播き	20※
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	暗渠、弾丸暗渠、明渠予定	10月11日	1.0	ドリル播き	30
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	暗渠、弾丸暗渠、明渠予定	10月14日	1.0	ドリル播き	30
	シラネコムギ	石巻市桃生町	確認中	なし	10月9日	0.9	ドリル播き	22.5

※: 1月5日調査

表5 麦類生育調査ほ生育状況(4月11日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種日 (月/日)	出芽 良否	草丈			茎数			幼穂長 (mm)
					本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	茎数 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町	11/1	良	37.8	151.8	190.5	476.7	86.3	74.3	29.0
	ミノリムギ	大河原町	11/5	良	39.2	224.0	199.0	456.7	124.9	74.6	26.3
仙台	シュンライ	大和町	10/19	良	37.2	176.3	-	966.6	291.2	-	34.4
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/16	良	39.1	210.2	238.4	1129.2	93.5	119.9	7.8
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/22	良	33.2	143.1	224.9	935.4	84.9	96.3	3.0
	ゆきちから	涌谷町	10/29	良	23.8	130.1	166.9	837.1	98.9	106.7	5.0
登米	あおばの恋	登米市豊里町	11/22	良	30.3	116.1	184.7	1225.0	120.7	186.6	3.5
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/11	良	42.8	132.5	224.3	618.0	114.4	90.0	31.2
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/14	やや良	35.2	127.8	202.2	557.4	110.7	79.5	17.8
	シラネコムギ	石巻市桃生町	10/9	良	28.8	123.5	145.2	908.1	88.5	67.3	3.9

注1) 出芽良否は達観で判断(良, 中, 不良の3段階を基本とする)。

2) 平年比は過去5か年の平均値との比較。

3) 仙台「シュンライ」は平成25年度から実施場所が変更となったため、平年値はない。

担当普及センターのコメント

1) 大河原

- ・播種以降、高温傾向が続いていることから、草丈は平年を上回っているが、茎数は平年より少ない。生育ステージも平年より早く進んでおり、シュンライ、ミノリムギとも、まもなく減数分裂期に入ると思われる。

2) 仙台

- ・3月以降は降雨も少なく天候は順調で、草丈前年比183%、茎数前年比234%。ほ場内で若干の草丈生育差あり。
- ・幼穂長は16～50mmの範囲で平均34.4mm。

3) 大崎

- ・気温は平年より高く、生育は旺盛。草丈は平年の2.4倍、茎数は平年の1.1倍、幼穂長は平年差+6mm。目だった雑草の発生は見られない。

4) 美里

- ・幼穂長は平年より長く、生育が進んでいる。また、タデ等の雑草の発芽がみられる。

5) 登米

- ・茎数が前回の約2.5倍に増加するなど、高温、4月初めの降雨で大幅に生育が進んだ。
- ・草丈・茎数とも前年を上回っている。
- ・4月7日に前年より5日早く茎立ち期を迎えた。
- ・雑草の発生はほぼなし。病害虫の発生も見られない。

6) 石巻

- ・高温傾向により、大麦、小麦とも幼穂長は平年より長く、生育ステージが早まっている。
- ・大麦、小麦とも草丈は平年より長い、茎数は平年の7～9割程度と少ない。